

皆さん、おはようございます。

そして、進級おめでとうでございます。

本日は、この始業式という大切な場で、皆さんにお会いできることを、心からうれしく思っております。

着任して、まだ1週間ですが、先生方から、皆さんがこの1年間、本当によく努力してこられたことを伺いました。初めての専門的な学び、実習、日々の課題やレポート……。

楽しいこともあれば、迷いや不安もあったかもしれません。

それでも今日、こうしてここに立っている皆さんは、

その一つひとつを、しっかりと乗り越えてきた証です。

この一年の歩みに、心から拍手を送りたいと思います。

本校ではこれまで、「やめない保育士」という教育目標を掲げてきました。

この言葉には、困難な場面でも諦めず、子供たちに向き合い続けるという、大切な想いが込められています。

この精神を大切にしながら、今年からは、より温かく未来に向かう表現として、「やめない保育士」を、「子どもの未来を育む保育士」へと言い換えることにいたしました。

意味は、変わりません。「やめない」という強い決意は、これまでどおり、根底にあります。その想いを、もっと前向きに。

子どもたちとともに歩む喜びや、未来への希望として、言葉にしたいと考えたのです。

これまでの積み重ねを大切にしながら、これからの皆さんとともに、

保育の未来を、より明るく広げていける表現にしたい——

そう、先生方と話し合い、考えました。

こうした想いは、実は学園歌にも通じています。

「新時代（とき）に研かん未来郷」「新時代（とき）に創らん理想郷」

これらの歌詞には、過去を尊び、今を生き、未来を創るという、

本校の教育の理念が、力強く表現されています。

それは、まさに保育士という仕事の、本質そのものです。

また、次の一節も心に響きます。

「豊後富士の教えの源流は 文武両道 風雪耐えて」

「豊後富士の誠実（まこと）の潮流は 清き博愛 報恩 感謝」

この「豊後富士」とは、皆さんもよくご存じの由布岳のことです。

本校の窓からも、天気の良い日には、その美しい姿を、望むことができます。

その静かで、そして堂々とした姿は、まるで皆さんの歩みを、いつも見守ってくれているかのようです。

この歌は、先輩方が大切に歌い、受け継いできた誇りであり、これから皆さんが凜冽に刻んでいく「道しるべ」でもあります。

そして、今年の学園全体のキーワードは、歌詞にもある「報恩」です。

これは、受けた恩に感謝し、その気持ちを行動で返すこと。

家族、先生方、仲間、実習先の先生方や子どもたち——

皆さんのまわりには、たくさんの「見えない支え」があります。

その存在に気づき、感謝を、学びに。そして、行動に変えていく。

それが、皆さんなりの「報恩」になると、私は信じています。

2年生となるこの一年は、学びも実習も、より実践的になります。

壁にぶつかることもあるでしょう。

でも、皆さんには、すでにそれを乗り越えてきた力があります。

仲間がいます。先生がいます。

そして、皆さんを見守る、多くの人たちがいます。

どうか安心して、自分らしく、歩みを進めてください。

私たち教職員も、皆さんの傍で、これからも全力で支えて行きます。

この一年が、皆さんにとって、保育士としての「根っこ」を、しっかりと育てる一年になりますように。
そしてその根っこが、やがて、子どもたちの未来を支える、大きな力になることを、心から信じています。

ともに歩んでいきましょう。ご清聴、ありがとうございました。

令和7年4月8日

学校法人後藤学園
智泉幼児保育専門学校
学校長 後藤秀徳